

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 亀尾 小学校 学級数 3

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標 心もからだもたくましく すすんで実践する子どもの育成

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

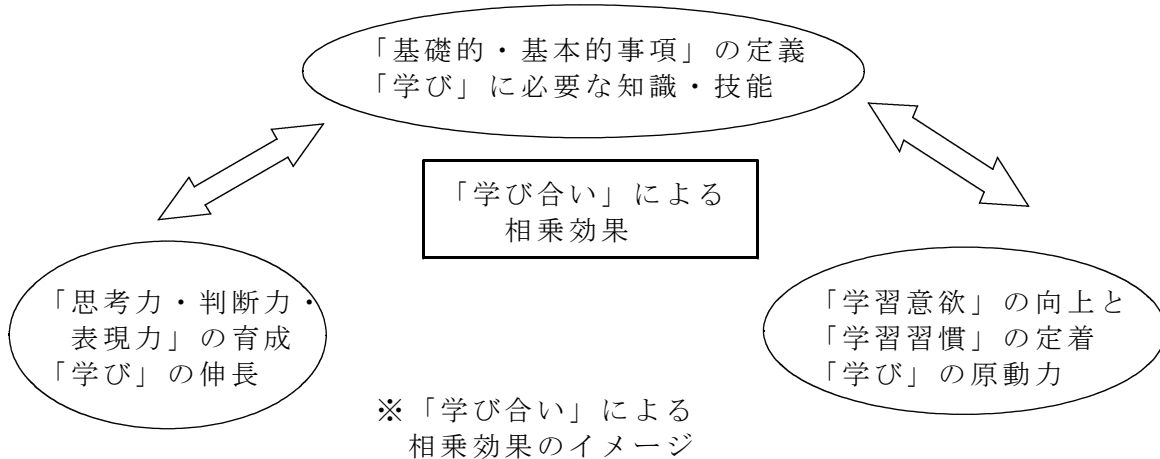
D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

- 取組のきっかけ
平成 21 ～ 23 年度の3年間で実施してきた研究主題への取り組みが終わり、平成 24 年度から新しい研究主題が設定されたため。
- 取組の位置付け
研究担当が中心に進め、必要に応じて教務がサポートする。
- 取組の方法
今年度の研究主題「学び合い活動を活かし、意欲的に取り組む児童生徒の育成を目指して」に基づいて、児童生徒の学力向上を図るために次のことを実践していく。

- ・課題の工夫
- ・発達段階に応じた一人で考える時間の工夫
- ・ペアやグループの活用
- ・全体で交流する場の工夫
- ・自己評価、相互評価の工夫

これらの取組から、図のような効果を期待している。



取組の成果と課題等

○ 取組の成果

- ・各指導案・授業の交流により、指導の手だておよび授業への取り組みに対して意識が高まっている。
- ・教師自身が「学び合い活動」を意識した授業を展開することで、児童生徒に徐々に浸透してきている。
- ・ペア、グループを積極的に活用する場面が増えた。
→→個人へ戻したときの定着度について注意が必要である
- ・「学び合う」ことの有用性と難しさを知ることができた。
- ・継続した自主学習・ノート学習を喚起する働きかけを、なお一層行う。
(学習習慣, 学習意欲)
- ・教師へのアンケートをもとに実技研修を行うことにより、研修への意識が高まった。

○ 教育課程検証の方法

- ・研究部より、実技研修・公開授業研修を含めた1年間の研修への反省アンケートを実施し、その成果と課題を検証し、次年度への展望を持つ予定。
- ・評価委員会より各学期に「学校評価に関するアンケート」を実施。
児童生徒, 職員, 保護者, 地域から意見を求め, 各項目についてまとめる。
集計結果および提出された意見をまとめ, 評価・準備委員会で検討するとともに保護者へも知らせる予定。